

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)EXC幕張町Ⅱ計画 新築工事	階数	地上9F
建設地	千葉県千葉市花見川区幕張町五丁目417番26、210	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年12月13日
敷地面積	6,078 m ²	作成者	新日本建設(株) 宇津見 聡
建築面積	2,165 m ²	確認日	2024年12月13日
延床面積	13,056 m ²	確認者	新日本建設(株) 宇津見 聡

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境品質 Q 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境
2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.9	Q2のスコア= 2.8	Q3のスコア= 2.5
音環境 3.0 温熱環境 4.7 光・視環境 3.8 空気質環境 3.6	機能性 2.5 耐用性 3.0 対応性 2.8	生物環境 2.0 まちなみ 3.0 地域性・ 2.5
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 4.4	LR2のスコア= 3.0	LR3のスコア= 3.4
建物外皮の 5.0 自然エネ 3.0 設備ステ 5.0 効率的 3.0	水資源 3.0 非再生材料の 3.0 汚染物質 3.0	地球温暖化 4.0 地域環境 2.9 周辺環境 3.2
3 設計上の配慮事項		
総合		その他
共同住宅の大きな建物ボリュームを分節しデザインすることで、圧迫感のない壁面デザインを検討した。アプローチ・共用部周囲には緑地を計画し、自然を感じられるように計画した。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
室内環境について、断熱等性能等級4を超える性能とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に配慮している。	住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮している。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等性能等級4を超える性能、BEI=0.69としている。	LGS下地を採用している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率73%とし、光害抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される